

松岩漁港の指定施設に係る指定管理者の指定について

- 1 施設概要 施設名 松岩漁港の指定施設（尾崎 A 防波堤横泊地①及び尾崎 A 防波堤横泊地②）
所在地 気仙沼市松崎尾崎地先（第 2 種松岩漁港区域内）
- 2 募集期間 平成 25 年 8 月 1 日から 9 月 17 日まで
- 3 応募団体（1 団体） 宮城県漁業協同組合
- 4 審査日程 第一次審査（書類審査） 平成 25 年 9 月 18 日から
平成 25 年 10 月 18 日まで
第二次審査（ヒアリング） 平成 25 年 10 月 30 日
- 5 審査方法 平成 25 年 10 月 30 日に宮城県農林水産部指定管理者選定委員会を開催し、公の施設の指定管理者の指定の手續等に関する条例第 3 条に規定する選定基準により、下記項目について審査を行い、候補者を選定した。

審査項目	審査の視点	配点
計画の内容及び実現性	<ul style="list-style-type: none"> 施設の設置目的を踏まえた施設となっているか。 人員体制及び配置計画は、施設の業務に十分対応できるものであるか。 施設の維持管理計画が適正であるか。 現金の取扱い等、使用料の管理は適切であるか。 利用者サービス向上に向けた取組計画が計画されているか。 利用者の増加に向けた取組がなされているか。 事故の防止対策、事故が発生した際の体制づくりが的確になされているか。 防犯及び防災に対する対応体制が適切か。 個人情報保護の考え方は適切か。また、情報の管理体制は適切か。 	40 点
申請者の能力	<ul style="list-style-type: none"> 安定的な運営が可能となる人的能力を備えているか。 安定的な運営が可能となる経理的な基盤を備えているか。 施設の管理実績は十分か。 事業に対する取組姿勢は適正か。 	40 点
収支計画	<ul style="list-style-type: none"> 経費の積算、配分等が適切であり、実現性・具体性があるか。 宮城県の見込んでいる金額を超えていないか。 施設の管理、運営以外の目的に費用が計上されていないか。 	20 点

6 選定委員の氏名等

	氏名	所属・職
委員長	高橋正道	宮城県農林水産部技監兼次長（技術担当）
副委員長	渡邊源左衛門	宮城県小型船安全協会顧問
委員	大越和加	東北大学大学院農学研究科准教授
委員	森本素子	宮城大学食産業学部ファームビジネス学科教授
委員	長田穰	宮城県農林水産部次長（技術担当）

7 採点一覧表

団体名	審査項目	委員 A	委員 B	委員 C	委員 D	委員 E	合計	平均	摘要
宮城県漁業協同組合	計画の内容及び実現性	32	31	29	28	28	148	29.6	指定管理者候補者
	申請者の能力	32	34	30	28	26	150	30.0	
	収支計画	12	14	16	12	12	66	13.2	
	合計	76	79	75	68	66	364	72.8	

8 指定管理者候補者の提案価格（収支計画）3年間合計

収入総額 3,000,000円（うち県指定管理料 3,000,000円）
 支出総額 3,000,000円

9 指定管理者候補者

団体名 宮城県漁業協同組合
 代表者名 代表理事理事長 阿部 力太郎
 所在地 石巻市開成1番27

10 指定期間 平成26年4月1日から平成29年3月31日まで

11 選定理由

- (1) 管理運営を行う人員体制が適切に計画されている。また、事務所が当該施設の近隣に存在することにより、即応体制が確保され、利用者の利便性や緊急時の対応についても、必要な資格を有するなど、適正な計画であると認められた。
- (2) 当該団体は、海に精通した職員で組織され、また、当該施設の管理業務の経験があるなど、指定管理者としての能力を十分有していると認められた。
- (3) 収支計画については、経費の節減を図り、効率的な管理運営ができるものと認められるなど、県への貢献が期待できる。

12 指定管理者の指定

宮城県農林水産部指定管理者選定委員会の審査結果を踏まえ、上記9の指定管理者候補者を、平成25年11月県議会の議決を経た上で、平成25年12月16日に指定管理者に指定した。